

特集 I

# マンガで伝える 事故の恐ろしさ



## オークラサービス



物流システムの設置やメンテナンスを手掛けるオークラサービスは、創業50周年の節目にコミックス版災害事例集『もっとずっと安心・安全な未来へ—お客様と共に—』を作成した。安全啓発活動の一環として、同社の災害事例集の中から取引先や新入社員などに伝えたい事例を厳選したもので、社史や同社の理念も盛り込んだ親しみのある内容になっている。同社の安全活動の中心は、作業ごとに安全指示書を発行し、二重の安全対策を徹底させているところ。類似災害などを参照しつつ、対策の履行について監督者と協力会社の双方で確認し合うことで実効性を担保している。(編集部)

事例集は取引先などに数百部配布のホームページでも閲覧ができる。同社



大庫社長から若手社員に対し特別任務が言い渡される…



に伝えられるものを作ることになったという。そこで、同社の大庫隆夫代表取締役社長がコミックスの制作を提案。社内チームを組織し、多くの関係者の協力を仰ぎながら、取り組むことになった。

「当社は、これまで安心安全こそが最高のサービスという考え方を大切にしてきたので、半世紀の節目に何かお客様のお役に立てるようなものをお出しできないかということが念頭にあった」と話すのは、同社管理本部経営企画部の伊角賢一部長。

社内チームでは、最初事故事例のみを取り扱う予定だったが、取引先や新入社員などにどんな会社かを知ってもらう良い機会になると考え、同社の成り立ちに関わる創業編と、事業内容に触れた震災編を冒頭に挿入し、その後には事故事例を紹介していく構成にしたという。

ストーリーは、同社の若手社員2人が大庫社長から特別任務を言い渡されることから始まる(上画像)。それは同社が大事にしている4つのキーワードを探ること

## 「安全の日」歴史を紐解く

オークラサービス(株)(兵庫県、従業員数354人〈2022年3月現在〉)は、大手メーカーの生産工場や通販業界の物流センターなどの物流システムの設置工事やメンテナンスを行っているテクノロジーサービス会社。物流機器の開発から機器を導入する生産工場や物流プラント全体の設計までを手掛ける物流システムの総合メーカーであるオークラ輸送機(株)の子会社だ。

同社は、2021年に創業50周年を迎えることから、安全文化を重視する同社の基本的な考え方を取引先や次世代の技術者たち